

日本語ボランティアは今！

広がる男性の活動の場

ボランティア活動を始めた動機・キッカケと今を考える

地域で活動している日本語ボランティア教室には最近活発に活動をする男性の姿が多くなりました。特に定年退職をされた方々です。夏に開催される文化庁の日本語教育大会でも大勢の男性が積極的に参加されています。今回は会員団体の教室で定年前後から活動を始められた男性の方々7名から文を寄せていただき、以下の様にまとめました。

(梶村 勝利)

現役時代を振り返ると

- ◎外国人の研修生を受け入れて世話をしていた。
- ◎外国人と接する機会が多く、言葉が十分通じず、もどかしい思いをずいぶん味わった。
- ◎欧米の取引先に日本語を知ろうとする方々が居り、乞われるままに、折に触れて日本語の手ほどきをした。
- …と仕事の中で外国人と接する機会があった方も多いようです。

定年を迎えて

- ◎数ヶ月は夜更かし朝寝坊、昼は特段の予定もないその日暮らしの繰り返し。
- ◎時間の有効利用や健康管理の意味もあり、日本語を教える勉強をした。
- ◎地域理解と生涯学習としてボランティアを考えた。
- ◎オーストラリアで半年間の英語漬けの

留学生生活を終え帰国後

- …とこれからの活躍の場を探ったり、
- ◎退職後は外国人に日本語を教えたいと思って多少勉強していた。
- ◎「日本語指導」の実状を知るべく日本語指導講座を受講、その具体的体験・実践の場の必要性を感じた。
- …と既に決めた方もいます。

日本語ボランティア活動のキッカケは

- ◎市報の日本語指導ボランティアの記事。
- ◎区の広報誌で見つけたボランティア日本語教師のグループの立ち上げに参加する。
- …など区市の広報で活動を知ったり
- ◎日本語の会を知り見学。学習者の反応や会話が楽しく日本語のみで良い会だが異文化交流を肌で感じた。
- ◎友人が世田谷で日本語教育のボランティアグループに入っていることが分かって仲間に入れてもらった。
- ◎ボランティア活動参加の機会があり参加。
- …と直接活動の場に入り参加しています。

活動に参加して

そこには皆さん参加することが自分の為であり、活動が楽しいとされています。

- ◎学習者には、仕事で忙しい方もいますし、家庭の主婦もいます。授業の日に元気な顔を見せてくれること、休みのとき何をしたかなんて話をしてくれるときのうれしそうな顔をみることが、教える者にとってとても嬉しいことです。
- ◎学習者からの相談を受ける事も多いが出来る範囲で相談に乗っている。地域の外国人との触れ合いや手助けが出来る事が楽しい。
- ◎今は在住の外国人に僅かながらの力を提供しています。人の役に立てる間は出来るだけそうしたい、またそれが出来ることが自分の喜びにもなっています。
- ◎日本の文化を伝えることも意義深いことだと思って、楽しく続けており、自分の勉強にもなっている。
- ◎自分自身の日本語勉強にもなっている。この活動が少しでも彼らの日本文化の理解に役立ち、日本人や日本を好きになってくれることに通ずればと願いながら、今日まで約6年半楽しく続けている。
- ◎ボランティア活動では、充実した時を持つが、一方、教え方で色々学ぶべき課題に直面する。
- ◎いざとなると勉強させられることばかり。「料理のコツ」の「こつ」ってどういう意味ですか、と尋ねられうまく説明できず、辞書を見ると、「骨」って書くのか！知らなかった、と新しい発見。

外国にルーツを持つ子どもたちと日本社会

寄稿

法政大学キャリアデザイン学部教授 山田 泉

現在、地域によっては、ニューカマーの学齢期の子どものうち約3割がいかなる学校教育も受けていないといわれます。これらの子どもの多くは、母語でも日本語でも読み書き能力が不十分だという指摘があります。これらの子どもたちは、学力も不十分な状態のまま成長していきます。そして、高校進学率も、ニューカマーの子どもの場合、50%程度という試算も示されています。

これまで、わたしは、これら外国をルーツに持つ子どもたちとかかわってきましたが、これらの子どもたちの多くにとって、将来日本社会で何らかの形で自らの力を発揮し、生き甲斐を持って社会参加していくためには、どうしても高校を卒業することが必要だと考えています。わたしがかわった中には、来日後比較的早い時点で中学を卒業する子どももいましたが、これらの子どもで、自分は高校進学の希望はあるが、高校受験までに、日本語力や日本の中学校の教科の学力を伸ばすことが間に合わないので、中卒で自動車整備士や美容師になるための勉強がしたいという子どももいました。しかし、これらの職業に就くためには、それもアルバイトや見習いではなく正規の職に就きたいのならば、どうしても自動車整備士ならば2級整備士国家試験に、美容師ならば美容師国家試験に合格する必要があります。そのほか、調理師になって中華料理等のコックになりたいという場合も、国家試験に合格し、調理師免許を取得しなければなりません。

また、これら資格を取るべく受験する場合には、かなりのレベルの日本語での読み書き能力や中学・高校レベルの教科の能力が要求されます。つまり、日本社会では、「手に職」という形での社会参加でも、もはや高校卒業程度の日本語力、学力が求められているわけです。そのようなわけでわたし

は、日本在住者で外国にルーツを持った子どもたちの多くが生き甲斐を持って暮らしていくためには、一般の人たちと同じく高卒レベルの日本語力と教科の学力が必要だと思うのです。

そうでありながら、地域によっては3割のニューカマーの子どもたちが義務教育年齢であっても学校に行っていないという事実は、今後、その子どもたちが成長し、成人に達した時に多くの社会問題を生み出すことにつながるのは必至と考えます。

先月、フランスで移民の二世、三世が「暴徒」化した事件がありましたが、これは日本社会にとって「対岸の火」ではありません。東京では、中国帰国者の二世、三世の暴走族「奴羅権(どらごん)」の問題が指摘されています。また、地域によっては日系人の子どもの社会問題が指摘されています。すべての子どもにその健全発達を保障できない社会は、その子どもたちが成長し社会参加すべき時に大きな問題を抱えることとなります。

その時にかかる費用より、義務教育年齢時の学校教育をはじめとした、すべての子どもたちの健全発達を保障するための費用の方が、はるかに少なくて済み、その対応がうまくいけば日本社会の国際化にとって有用な多文化・多言語の人材として社会貢献してくれる可能性が大きいと考えられます。わたしは、日本社会には、賢明な判断を下してほしいと思ってやみません。



山田 泉 連絡先
法政大学キャリアデザイン学部
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

【日本語学習における 問題点】

1—発音・イントネーション・ プロソディー

①「か」と「が」、「た」と「だ」な どの発音

日本語の個々の単語の発音は容易。ただ「か」と「が」、「た」と「だ」は少し難しくなる。中国人は日本人が「かかく」と言っているのか「かがく」と言っているのか分からないことがある。日本語の「か」と「が」、「た」と「だ」はそれぞれ無声音（清音）、有声音（濁音）であるが、中国語で対応する音はそれぞれ無声有気音（清音）、無声無気音であり、少し違う。

②「拍」の問題

「拍」を意識させる必要がある。「かんとんに話す」を「かんに話す」と[ん]が抜けることがある。中国語は抑揚があり、強弱の問題になるが、日本語は高低の問題になる。中国人が抑揚をつけてしゃべると、長音と短音の区別がなくなってしまう。

③単語および複合語のアクセント

複合語のアクセントは最初の単語は平板型で、二番目の単語の拍まで高くなるのが普通だが、元の単語のアクセントのままで発音してしまう。「ぺきんだいがく」の発音が「ぺきん」のアクセント「ぺ」にアクセントのままの人が多。簡単な規則を教えた方がいい。

④語尾のイントネーション

難しいが間違いは直した方がいい。「いい会社じゃない？」は意見を求め、「いい会社じゃない」は否定の場合と驚きの場合に使うが、それぞれイントネーションが違う。

⑤「へ」の字型のプロソディー

中国の日本語学習者を 支援する時の 効果的な方法とは

中国 北京大学教授 **趙華 敏博士**

講演内容

まちだ地域国際交流協会(MIFA)が今年6月開催の
講習会を紹介したMIFAニュース12月号から転載



「おはようございます。」という言葉は「は」で高い音の後滑らかに下がっている。「よろしくおねがいします」も「ろ」の後だんだん下がっている。日本語は滑らかで、中国語は波のような感じがある。

2—助詞

中国語には無いので、最初から正しく言わせる方がいい。

3—自動詞と他動詞

「来月、引っ越すことになりました」の「なる」は日本語がよく使う言い方で、中国語や英語は「する」という言い方をする。中国人は「来月、引っ越すことにしました」と言う。

日本語で「雷で木が二つに割れた」というのを中国人は「雷が木を二つに割った」と言う。

4—日本語は文末まで言わない。

文脈があれば文末まで言わなくても日本人は分かるが、中国人は分からないので、最後まで言わせる訓練をした方がいい。

5—敬語

日本語は相手によって話し方が変わる。日常生活で「普通体」がよく耳

に入り、覚えてしまう。しかし、それはだれにでも使えるわけではない。正式な場合では「丁寧体」を使うので、やはり「丁寧体」を先にしっかり教え込むほうがいい。

6—文化の影響

日本語は次のような特徴がある。

①断定を避ける ②はっきり言わず相手に分からせる言い方 ③やりもらい表現が好き、等々。

【日本語学習支援に おいての効果的な方法】

- ◎入門期では発音をあまりしつこく直さない。
- ◎特に初級では暗記してもらう。
- ◎助詞を抜かない、文末まで言わせるなどにより完全な文を言わせるようにする。
- ◎まとまった内容を言わせる。読んだ内容を自分の言葉でまとめる。自分の考えていることを論理よく話したり書いたりするようにする。
- ◎適切さを大切にする。場面、相手の身分、性別、年齢、親疎に応じて発話する。

団体会員を対象に Project1で「子どもたちに対する支援について」、Project2で「TNVNの情報発信に関する」、アンケートを実施しました。(9月9日に77団体に発送、10月28日までに36団体から回答) ご協力ありがとうございました。

PROJECT 1

学齡期外国籍児童生徒の日本語支援について——その2

36団体のうちの三分の二が子どもたちを受け入れており、個人対応で、日本語教材、学校の教科書を使い、宿題なども手伝っているというのが平均的な姿です。在籍する学校でどういう形にしても日本語教育を受けている子どもは、そのうちの半数もありません。

また、公立学校に(ボランティア)指導員を派遣しているのは36団体中6団体でした。学校や子どもの親などから依頼されて、メンバーのうちの日本語教師経験者、関連講座修了者などを学校に派遣しています。

子どもたちの日本語学習の時間数はまちまちで、一週間に2時間という学校から、多い所で8時間、個人授業、または小グループで学習しています。

謝礼は一律ではなく、額も十分ではな

いようですが、6団体中5団体(の担当者?)に出されています。

皆さんのご意見から

—学校・行政の問題—

- ◎学校は日本語の不十分な子どもたちの受け入れに困っているようだ。
- ◎学校側の問題意識の欠如が大きな壁になっている。
- ◎教師、行政の担当者が真剣に子どものことを考えているか疑問。
- ◎他教科の授業についていけるように、学校で日本語教育をしてほしい。
- ◎日本語教育を実施している学校でも時間数が少なすぎる。
- ◎自治体・学校側の受け入れ体制が整っていない。
- ◎自治体・学校・地域の連携が課題。

- ◎ボランティアに協力依頼をする場合、事前に講習会をするべき。
- ◎子どもの親を巻き込むことが必要。

—子どもの親の問題—

- ◎子どもの教育に関心がうすい。
- ◎ボランティア日本語教室を放課後の塾がわりにする。

—ボランティアの問題—

- ◎ボランティアは、子どもと学校・クラスメートとのつなぎ役になる。
- ◎ボランティアにできるのは、学校の復習と子どもの心のケア。
- ◎ボランティアは「子どもの日本語教育」に慣れていない。
- ◎行政の現状もわからない状態で、子どもを受け入れてよいものか。

PROJECT 2

TNVNの情報発信について

ニュースレターは今後も紙媒体で発行、その内容をTNVNのホームページにも掲載

日本語学習支援の中で使用する教材をインターネットから求めている方が半数近くおられました。

TNVNのニュースレターは現在 年間4回(3ヶ月毎)編集・発行しています。この中からTNVNの活動や日本語ボランティア活動に関する内容を選びホームページに掲載し、広く日本語ボランティア活動に関心のある方々に閲覧出来るようにしました。

更に、今後は会員の皆さんのご希望に

応じ、ニュースレターの全文(PDF形式)をメールで配信することを考えて、アンケート調査をしました。

1 TNVNホームページへ全文記事を掲載することに……

ほとんどが積極的に賛成

(全文掲載:18 一部掲載:4)

但し大半が「会員団体紹介」、「ボランティアの現場から(ボランティアの声、学習者の声)」の掲載には条件付賛成(関

係団体・個人に了解を取る:15)

2 ニュースレターを紙媒体かPDFかでの記事発信については

- ①メールで受けてみたい:5
- ②これまで通り紙媒体で:16
- ③メールと紙媒体両方を希望する:12

今後も紙媒体での発行と配布を進めていきます。いただきましたご意見をホームページ・ニュースレターの編集に生かして参ります。

ネ ッ ト
ワ ー ク
紹 介

八王子市のネットワーク

——地域をつないで——

齊藤 広子 (八王子にほんごの会/八王子市)

八王子市は、昨年4月から市民・市民団体・行政の「協働」のもとに、さまざまな企画が始まっている。駅前の商業ビルの11階に国際交流コーナーが、市からプレゼントされたのをきっかけに、市内の国際交流に携わる、アクティブライン、エンドウスタジオ、国際友好クラブ、CCS、八王子にほんごの会の5団体が連絡会を発足させた。コーナーを基点として、日本語学習室はもとより、外国人を含めた市民の方々の大きな共感を得て、楽しく有意義な企画が次々と展開されている。

今回は、それらのうち、10月の二つの記録である。

10月9日 (日)

一天候 (雨)

留学生のためのホームビジット・「八王子ふるさとプログラム」の一環として、今日は留学生とファミリーが一堂に会してのバーベキュー・パーティーの日だ。場所は、駅から車で30分ほどにある、緑に囲まれた広い敷地の「夕やけ小やけふれあいの里」である。

中村雨紅作詞の童謡「夕やけ小やけ」を記念して、雨紅の生誕地である八王子の恩方地区には、「夕やけ小やけふれあいの里」がある。ふれあい牧場、おおりの家(宿泊施設)、魚つり、いろりばた(レストラン)、ふれあい館、キャンプ場など施設が充実している。あいにくの雨だが、屋根のある所に炉やテーブルなどが設置されているので安心。

参加者は子どもを含めて76名。8班に分かれて、新聞と薪で炉を起こし、留学生と若いパパが中心に汗だくになって大量のお肉と野菜を焼いている。なんとおいしいこと！ 留

学生とファミリーの笑顔が最高！

ファミリーとして手を挙げてくださった方々とお会いして、その温かさ、優しさに驚き、市民の方々とのふれあいのすばらしさを再認識した。

また、留学生は、「母国を離れ、お母さんの手料理を恋しく思うが、ファミリーのお母さんの手料理がとても嬉しい。」「優しくしてもらい、日本人のことが理解できて嬉しい。」など声は異口同音であった。

「来年もぜひまた」の声を後に、楽しいひとときの余韻をかみしめて家路についた。

10月16日 (日)

一天候 (雨)

「世界の人とふれあいタイム」の名で、昨年4月から毎月様々の国のゲストを迎えての、市民の方々との交流のひとときである。

今までのゲストは、バングラディッシュ、アゼルバイジャン、ルーマニア、中国、インド、オーストリア、モロッコ、タイ、ジンバブエ、アンゴ



ラ、インドネシア、ベルギー、韓国、シリアなど18カ国に及んでいる。

今日は、ベラルーシ大使館の一等書記官、チェレンチェフ・セルゲイ氏とご家族。白ロシアと呼ばれた時代もあったが、現在では立派な独立国であり、IT産業や宇宙開発も盛んであり、芸術面では画家のシャガールを生み、バレエも日本から勉強に行っているとのこと。ただ、隣接のチェルノブイリの被害が大きく問題となっていて、人口が40万人も減り、ベラルーシで子どもを産みたくないという理由もあり、被爆の傷が深い。

11月25～27日の3日間に、チェルノブイリ～大地・水・命～のタイトルで地球環境と命を考える企画を、国際交流コーナーを中心に、広河龍一の写真展、本橋誠一監督をお呼びしての映画、コンサート、留学生の弁論大会、交流会などが予定されている。

ことほど左様に、八王子市の地域をつなぐ国際交流は、今、熱く燃えている。

nice to meet you

新米日本語教室奮闘記

日本語サークル「くりはら」

石橋 穠治（足立区）

現在足立区内には12のボランティア日本語教室がありますが、私達の日本語サークル「くりはら」は、今年の4月に発足したばかりの最も新しい教室です。会場は東武伊勢崎線西新井駅近くにある栗原小学校で、毎週木曜日の夕方6時半から2時間行っています。

学習者の国籍は韓国と中国が多く、その他フィリピン、インドネシア、ベトナム、アメリカ等となっています。

学習目的は、日本で暮らすための日常会話能力の習得が最も多いですが、学校の授業についていくための日本語の勉強（大学生、中学生、小学生の学

習者）や日本文化の理解（語学校の先生）、日本語検定受験のための勉強（語学校生徒）などを目的とした学習者もいます。

教室を運営して行く上での一番の悩みは、学習者、ボランティアともに入りが多く毎回出席者の顔ぶれが変わるということです。10月末現在、名簿上の学習者数は54名ですが今も入会者は絶えず、毎月2～3人入って来ます。

ただし、帰国その他の身辺上の都合で辞めたり休会中的人也多く、実質的な学習者数は20人位、さらに、実際勉強会に出席する人は

この内の6割程度です。

したがって、学習者とボランティアの組合せは毎回当日の出席者を見てから決めざるを得ません。これには大変苦労します。

教室を立ち上げて半年、余りに激しい人の出入りに戸惑い、喜びと失望が交錯する毎日でした。

今後のモットーとしては、運営方法の絶えざる改善を前提とした上で、多くの先輩諸氏の言に従い「去るものは追わず、来るものは拒まず」の精神で行きたいと考えています。



会員団体紹介

Nice to Meet You

nice to meet you

社会福祉法人さぽうと21では
難民の方たちにユニークなレッスンをしています

社会福祉法人さぽうと21

海老原 峰子（渋谷区）

ヨーロッパの言語、例えばフランス語では動詞は人称及び単数か複数かにより、現在形だけでも6通りに変化します。つまり、1人称の単数と複数、2人称の単数と複数、3人称の単数と複数の6通りです。そしてそれらはフランス

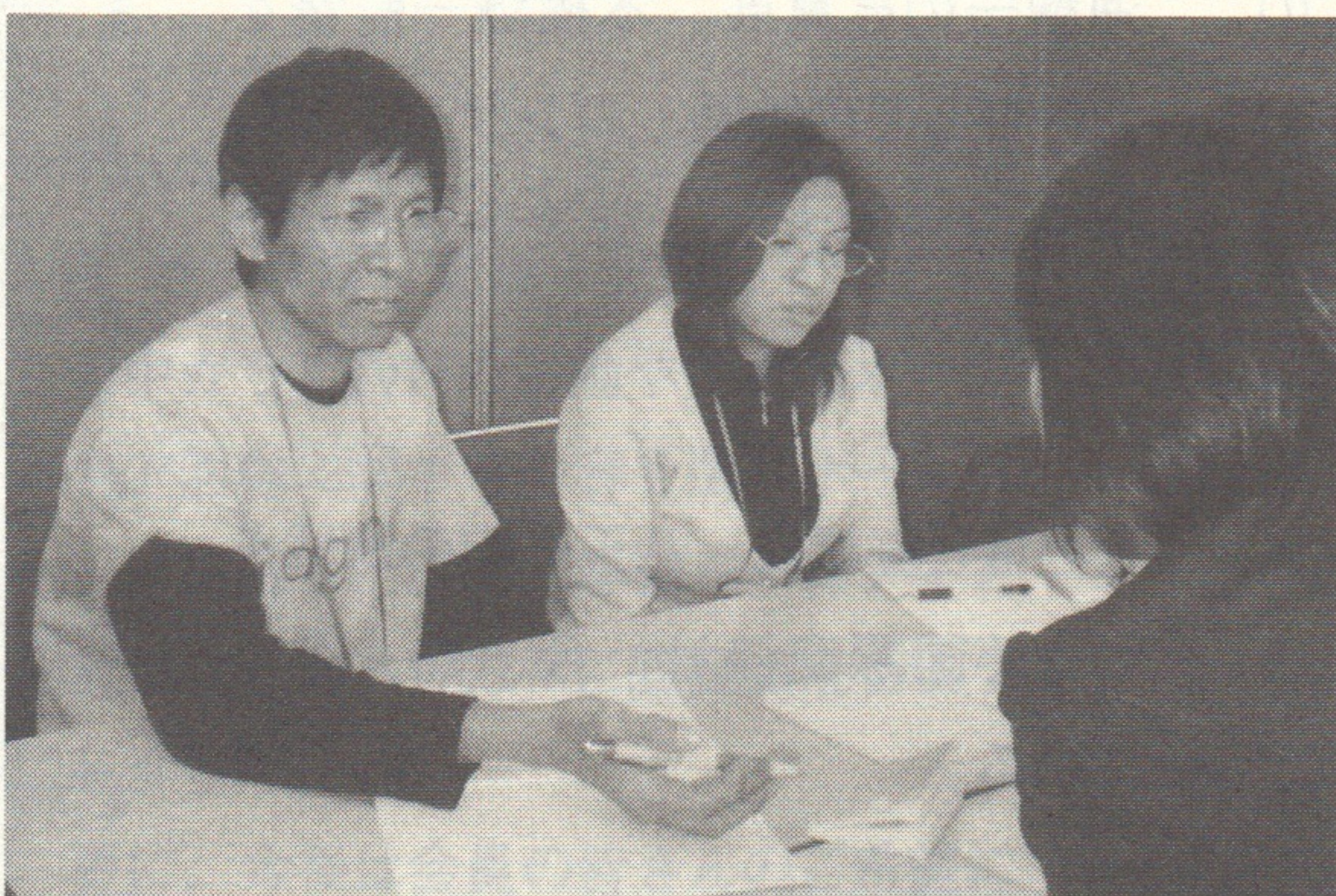
語を学ぶ上で大変重要なことなので、習い始めたばかりの初心者にも学習させます。すると学習者はフランス語の動詞を6つの形として覚えていきます。

日本語の動詞もそのように教えるほうが良いと考えて作られたのが、「ニュー

システムによる日本語」という教科書です。動詞を学習するとき、日本人が会話で頻繁に使う6つの形を、50音つまり「あいうえお」と関連付けて練習し覚えられるよう工夫されています。さぽうと21では、難民の方たちに日本語を教えています、ボランテ

ィアの先生がこの教科書を使いユニークなレッスンをしています。まったくのビギナーの学習者が1ヶ月もすると、「どこへ行くんですか」、「銀行へ行こうと思います」、「どうやって行けばいいですか」、「地下鉄で行ってください」などと会話ができるようになります。

この教科書はシンガポールの出版元の学校からの寄付によるもので、学習者にはもちろん無料で配布されています。又、難民の方たちに日本語を教えることに関心をお持ちの方には無料で説明会が行われます。詳しくはさぽうと21（Tel.03-5449-1331、担当海老原）までお問い合わせ下さい。



学習者の声

楽しい水彩画教室
 徐愛淑・韓国
 さくら会（港区）



皆さんに私が通っている水彩画教室をご紹介します。

毎週金曜日午後1時、中央区佃シニアセンターで、11名の会員が集まっていろいろな季節の素材を描いています。3時からのおやつの中には、いろいろなおもしろい話をします。5時ごろ終わるときには、会員が自分で描いたそれぞれの画を遠くにおいて、お互いに意見を交わし、竹丸先生が会員の画を批評して下さいます。

この教室の会員を一人一人ご紹介します。

まず毎週会員のために、すばらしい素材を用意して下さり、お茶をいれて下さり、実力が不足な私達を熱心に教えて下さる竹丸先生。本当にありがとうございます。

班長としてこの教室をよく支えて下さる平野さんは、まるで私の母のように、いつも暖かく親切に下さいます。広田さんはこの教室のムードメーカーで、常に明るい姿とお話で雰囲気を楽しくして下さいます。和紙工芸講師の高田さんは、衣装もヘアースタイルもお姫様のようなです。きっすいの大

阪人早川さんは、常に素直な表情とお話して会員たちを笑わせて下さいます。木村さんはあまりお話ししないで静ですが、俳句が上手です。優雅な雰囲気でおしゃれな神田さんは映画が大好き。

野口さんは今年夏遅く入会したのですが、すごい挑戦精神でまもなく他の会員をおいこすようにみえます。会員の中で絵が一番上手で尊敬すべき三輪さんは年齢も高いし、体も少し不自由ですが、いつも一生懸命絵を描きます。油絵もスペイン語も上手です。毎回会員のため、おやつを持ってきて下さる小坂さん、いつもありがとうございます。長い間版画をなさって絵の雰囲気が非常にどくとくですばらしいです。

私の日本生活をやりがいがある、楽しいものにして下さる佃シニアセンターの水彩画教室のお姉様とお兄様達に、この紙面を通じて感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございます。

ボランティアの声

岩佐幹彦
 江戸川ユニオン日本語教室（江戸川区）

新たな自己発見へ
 日本語ボランティアのお勧め

私がボランティアの活動を始めたのは40歳代半ば（1991年）、バブル崩壊後勤務先が変わり、時間的な余裕ができたのが契機でした。

余暇時間の活用として、あるとき群馬県で行われている「アフリカ難民・救援米収穫祭」を知り、家族連れで参加をしました。

この催しは、参加者が休耕田を活用して、春に田植え、秋に刈入れを行いながら米作り体験をし、生産された「米」をアフリカに救援米として送るものでした。3年間ほど参加しているうちに、地域の友人から身近な国際交流として日本語教室ボランティアへの誘いを受けました。

日本語ボランティア・・在住外国人に対しての日常生活会話の支援でした。

「外国語による会話は駄目でも、日本語なら少しは外国の方々に受け止めていただ

けるか」と考え、ボランティアを始めました。

教室には、中国、韓国、フィリピンなど東南アジアやイラン、パキスタン、スリランカなど中近東の外国人労働者、日本人男性・女性の配偶者、研修生、日本語学校の学生、ワーキングホリデー等などです。時折、英会話教室の外国人講師も日本語を勉強したいと、姿を見せました。

実際にボランティアを始めると、外国人の方々が様々な日本語の理解を欲していることが理解できました。

教室に見える外国の方々は日本語学習に強い意欲を持っているために、学習中は私たちボランティア側が助けられることも多くあります。

これまでの永年の生活が変化する時、ボランティア活動に踏み出す契機としましょう。



「武蔵村山日本語の会」での 講習会に協力しました

武蔵村山日本語の会主催で「日本語ボランティア スキルアップ講習会」が開かれました。前回の入門講習会（2003年：NL45参照）に引き続いての講座で、顔なじみの方々も多く、緊張の中にも和やかに意見交換も出来ました。

日時：2005年10月13日,11月10日,12月8日（全3回）19:00～21:00

場所：武蔵村山市民総合センター

TNVNスタッフ募集！！

TNVNの事務局スタッフ・ニュースレター編集員となってTNVNスタッフと一緒にボランティアでご協力いただけませんか。TNVN事務局までご一報をお待ちしています。

ニュースレターの記事をお待ちしています

団体・個人にかかわらず、日本語学習支援・日本語ボランティア活動に関する意見・紹介・情報などは是非お寄せ下さい。

本号では「男性の活躍の場」を記事にしました。他の切り口からの記事を取り上げたいと考えています。

- アンケート（P-4関連）では
 - ・教材に使えるモノがあれば嬉しい。
 - ・各回テーマ別にした“教え方”など連載して頂ければ“漢字の教え方”など。
 - ・他教室の運営方法や現状を知ることができ助かる。
 - ・正直言ってマンネリ化を感じます。
 - ・いつも興味深く拝読しています。
- などの意見をいただきました。

TNVNホームページがリニューアル



11月からTNVNホームページのトップページがリニューアルしました。

内容では紙媒体で発行していますニュースレター（TNVN network news）の記事を、広く日本語ボランティア活動に関心のある方々に閲覧出来るように PDF版、HTML版で転載します。ホームページについて、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「イベント掲示板」が有ります。日本語学習支援のボランティア募集・学習希望者募集等にもご活用ください。

Column

11年前、故郷の神戸から上京して3年目の冬に、阪神大震災が起こりました。その後も日本国内のみならず世界中で、大地震が続いています。東京でもしばしば震度3～4の地震の揺れを感じる事が有ります。

地震に慣れていない外国人にとって、いつ大きな地震が来て被害に遭うかもしれないということは本人だけでなく、国に残してきたご家族にとっても心配でたまらないことでしょう。

日本語教室や日本語学校でも、地震対策に

関する話題を取り上げ、緊急時に慌てず冷静に対応できるように避難方法を話し合ったり、連絡手段を確認したりする動きが盛んになってきたようです。

いつ何時起こるか分からない天災、コミュニティにおける普段からの付き合いや交流が一つの鍵となるでしょう。日本人、外国人の枠を超えて皆が助け合い大きな被害を防げるように、普段から支え合い、協力し合えるような温かい地域社会を作っていきたいと思えます。（溝口明子）

●甲斐武子さんがご逝去されました。

TNVNで事務局スタッフとして2001年までご活躍いただきました。ご冥福をお祈りします。

TNVN東京日本語ボランティアネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVNの会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通し、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

東京日本語ボランティア ネットワーク事務局の活動

- ◆日時：毎週金曜日
- 第1、第3、第5 金曜日／午後2時～4時
- 第2、第4 金曜日／午後2時～6時

◆場所
東京ボランティア・市民活動センター
JR、地下鉄（東西線・有楽町線・南北線・大江戸線一出口B2b）飯田橋駅下車
セントラルプラザビル 10F ロビー

◆日本語ボランティア相談窓口
日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフが対応しています。電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにも対応しています。ご意見もお待ちしています。

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックス No.4

●TEL：03-3235-1171

（呼出：金曜日活動時間帯のみ）

●FAX：03-3235-0050

●E-mail：webadmin@tnvn.jp

●URL：http://www.tnvn.jp/

●郵便局払込

口座番号：00100-1-719259

加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

●新会員紹介
協力会員／大東 春代

●会員数（2005年11月11日現在）
正会員：77団体 協力会員：63名
賛助会員：5団体

●編集／岩佐 幹彦、大木 千冬
岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利
床呂 英一、西岡 暉純、林川 玲子
●レイアウト／鶴田 環恵